

◆平成28年度三段峡×みちのく 雪国文化満喫宿泊キャンペーンがスタート

この冬、「日本最南端の豪雪地帯」安芸太田町で「本州最北端」の東北の雪国文化が味わえます！
なんと特別名勝「三段峡」正面口エリアが約100個の「ミニかまくら」ろうそくイルミネーションで秋田の小正月のような風景に彩られます。

更に、宿泊プランをお申込みのお客様には、ほくほくの「東北の鍋料理」や宿泊翌日も楽しめるオプションプラン「町内スキー場無料送迎プラン」をご用意しました（要予約・人数限定）。子どもから大人まで楽しめる東北雪国文化を三段峡で満喫しましょう！



◆第7回地域再生大賞 優秀賞受賞

地域活性化に挑む団体を支援しようと、地方新聞45紙と共同通信社が設けた「第7回地域再生大賞」に、祇園坊柿を使ったスイーツ「チョコちゃん」を製造している「寺領味野里」が優秀賞を受賞しました。

寺領味野里とは、おばあちゃん中心のグループが2012年に観光協会と連携し「チョコちゃん」の高付加価値化事業を展開しました。

そして、2015年には「おみやげグランプリ2015」で準グランプリを受賞するまでに成長しました。このような取組みが地域活性化に挑む団体として評価され、このたびの受賞となりました。全国から50団体がノミネートされ、2月17日、都内のホテルで表彰式が行われます。



事務局長便り

時間がたつのは早いもので、2016年1月25日に私が安芸太田町の住民となって1年が経ちました。

思い出せば、あの日はものすごい大雪が降り、前泊した広島市内も猛吹雪、手配してもらった4WDの自動車をふらふらしながら運転して加計の町に入ったことを思い出します。

加計支所で住民票の手続きをしたとき、海外からの転入ということでまさらな本当に生まれたばかりの子どものような気持ちになったことを覚えております。

一年をふりかえてみると、ただひたすら町内に慣れることに努めた日々だったと思います。休日には安芸太田ナビと地図を片手にありとあらゆる場所に行きました。突然訪れた那須集落はじめ各地では、皆様が気軽に話をさせていただき大変ありがとうございました。

平成29年度からは一般社団法人としてスタートいたしますが、町内に生まれた新生ベンチャー企業として地域の皆様と協力し、安芸太田町のポテンシャルの高い観光資源を全国へそして世界へ発信し、また地域産業の稼ぐ力に少しでもお役に立てるような運営を心掛けていきたいと思っております。